

# 平成30年度 勝山市社会福祉協議会事業計画

## 法人運営事業

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
		法人運営	法人運営	法人運営	法人運営全般
財源	◎会費	◎自主財源	県社協補助	◎市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、定款・規則等の一部改正等の決議、役員研修会の開催				
事業計画	①毎月会長に収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保				
事業目標	経営基盤の強化を図るとともに、福祉サービスの向上を図る。また、住民や、福祉関係者等とともに地域の福祉課題・生活課題の解決に取り組む。				
見込み成果	①速やかな経営状況の判断 ②支援を必要とする方に適当な福祉サービスの提供				
課題	安定的な収益体制の構築				
振り返り					

## 地区社協事業(1201) (701)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
		法人運営	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業		
財源	会費	自主財源	県社協補助	◎市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する。				
事業計画	地域に住む住民を対象に公民館単位を1地区社協として、公民館を拠点に福祉活動を実施。各地区の特性を大切に支援を行う。				
事業目標	①月1回のコーディネータ連絡会 ②地区からの相談等への援助 ③地域の課題の洗い出し ④会長会の実施 ⑤職員による地域割り実施				
見込み成果	①地域での福祉の拠点づくり ②地域の課題について地域で話し合うことができる。				
課題	地域での新たな共助の仕組みづくり				
振り返り					

## 給食サービス事業(1202)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層(地区社協)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	65歳以上の一人暮らしの方、または65歳以上の高齢者のみの世帯の方、もしくは、65歳以上の高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する。				
事業計画	地区社協を中心に事業を実施する。市社協はコーディネータの相談役やボランティア活動者に必要な研修の実施。市の受託事業に当てはまらない方にも提供できるような仕組みづくり。生活支援体制整備事業の導入に伴う給食サービスの在り方、活動等の研究。				
事業目標	安全安心の給食提供				
見込み成果	民生委員による定期的な見守りの一環。ボランティアの生きがいづくり。見守りが必要な方の発掘。広域的なサービスの提供。				
課題	食数の確保、ボランティアの確保(広域的な活動の展開)、食材費の高騰による食材費の確保				
振り返り					

## 福祉救援活動事業(1204)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	災害に備えた物資の準備並びに研修への参加を実施する。また、災害発生時には職員を現地に派遣する				
事業計画	勝山市災害ボランティアセンター連絡会を設立し、当市での災害への備えを研修や訓練を通して、積み上げる。また、他の地域の災害発生の際には職員を派遣できるスキルを積む。SNS立ち上げ、職員皆が活用でき災害に備える。				
事業目標	災害ボランティアセンター運営ガイドラインの周知、災害ボランティアコーディネータ養成。				
見込み成果	運営ガイドラインに沿って訓練の実施ができた。SNS立ち上げ、職員皆が活用でき災害に備える				
課題	災害ボランティアコーディネータを更に増やすこと。				
振り返り					

## 住民参加型在宅福祉サービス和美さん(1206)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	住民の連帯並びに相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
事業計画	勝山市民を対象に登録制を取る。制度に区切ることなく公的サービスでは補いきれない部分や、子育て支援の場の部分に対応していく。				
事業目標	訪問A型への移行の検討、実施				
見込み成果	訪問A型への移行の検討、実施で住民主体の事業の実施				
課題	担い手の確保、本来の誰でも受けることができるサービスとの住み分けをどうするのか				
振り返り					

## 地域ふれあいサロン(1207)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	「歩いていける。その場所に行けば気心の知れた仲間がいる」という観点から、高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まる場所の提供をしている。(各地区社協へ)				
事業計画	高齢者を中心に市内地区社協若しくは集落単位にて年3回から月4回までを集落の特性を活かして、サロンを実施する。				
事業目標	楽しさ、生きがい、社会参加、地域見守りの場				
見込み成果	地域の見守りの場 適度な精神的刺激、健康や栄養について意識する習慣づくり 生活へのメリハリ				
課題	地域の方が、福祉バスの利用に関する事、企画内容を考えることの負担を感じている				
振り返り					

## 日常生活自立支援事業(1208)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	◎県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	認知症、知的障害、精神障害を持つ方ができるだけ自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用の手続き、日常的な金銭管理などのお手伝いを通して支援をする。				
事業計画	日常の金銭管理、契約などに不安を感じる方へ相談受付、新規契約、関係機関との連携 契約者の支援、生活支援員の資質向上のための研修、専門員への研修				
事業目標	本人を中心にした支援の実施				
見込み成果	安心して地域で暮らしていく。 ②関係機関との情報共有 ③生活支援員の資質向上 ④専門員の資質向上				
課題	生活支援員に担ってもらうことが困難なケースをどう扱うか 生活困窮者自立支援センターのケースが増えており専門員の資質向上が求められている。				
振り返り					

## 福祉総合相談事業(1209)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	生活の困りごと、法律に関わること、労働や年金に関わることについて専門相談を実施する。また、一般の相談については、職員が随時対応し、解決や専門機関につなげる。				
事業計画	全市民を対象に毎月第2・第4水曜に弁護士による法律相談の実施、毎月第1水曜日に社会保険労務士による年金、労務相談を実施する。平時の相談については職員での対応にする。				
事業目標	総合相談窓口として、受け付けた事案を必要な関係機関につなげ、本人の困りごとの解決に結び付ける				
見込み成果	①弁護士不在の等においては、身近で弁護士相談が受けられ、安心につながる。 ②相談種別を分けずに総合相談として受け、世帯の困りごとを把握、関係機関等へつなげ安心へとつなげる。 ③まちなかcaféなどでひろい上げた相談を専門相談祖紹介や関係機関へ結び付け解決を図る。				
課題	地域で拾った些細な話でも安心や解決に向けて相談にのり、関係機関へつなげるなど職員の相談力を高める。				
振り返り					

## 勝山市訪問型サービスA事業(1212)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	軽度生活援助事業	軽度生活援助(家事)事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	介護認定の対象とならないが、勝山市が家事の一部援助が必要と認めた方への必要な家事支援				
事業計画	介護認定で自立と認定された方で、勝山市が家事援助が必要と認めた方に、今後も本人の意欲を引き出し、地域での生活が継続できるように定期的に訪問し、サービスと共に必要なアドバイスをする。				
事業目標	自立した生活が継続できる支援				
見込み成果	自立した生活が継続できる支援 関係機関と連携を取り地域での生活が継続できる				
課題	対応できる人材の開拓(ヘルパー以外での対応)				
振り返り					

## 家族介護支援事業(1211)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	
	法人運営	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	介護の専門家を対象家庭に派遣し、介護の方法の指導や相談を行う。				
事業計画	①介護の専門家を介護に困っている家庭に派遣し、介護方法の指導や相談を行う。				
事業目標	適切な介護指導ができる。ケア会議時に事業周知ができる				
見込み成果	①介護ストレスの軽減 ②介護の専門家による相談を行うことで気持ちが楽になり、虐待防止につながる。				
課題	申込件数が少なく、この事業周知不足がある				
振り返り					

## ボランティアセンター事業(1301)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	
	法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
予算	会費	◎自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(チャリティ映画)	介護給付
事業概要	地域での助け合い、生きがいを目的にボランティア活動する団体、個人をボランティア活動先とマッチングする。また、育成のための研修を実施する。				
事業計画	①企画、広報部会、全体会の運営委員会開催し、センターの事業について協議しながら進める。②運営委員参加のもとボランティアセンター主催のイベントを開催し楽しむ。③ボランティアセンターキャラクター「ココドン」を使い、センターの認知を上げる。(ストラップ販売、ファイル配布)。④チャリティ映画実施し、活動財源の確保。				
事業目標	勝山市で暮らすあらゆる世代の「つながる力」を育てていくために、地域を基盤としたボランティアセンターの運営を行う。市内の企業に「福祉」についての関心を高め、若い層の方にボランティア意識を高めてもらう				
見込み成果	団体交流会や研修会を通して、ボランティア同士のつながりや新たな活動を知る。キャラクターを通して勝山ボランティアセンターを知ってもらい、ボランティアの拡大につなげる				
課題	ボランティア活動者一人ひとりとの関わりが持てない。若い層のボランティア意識を高める活動先の発掘				
振り返り					

## 勝山ボランティア団体交流会(1301)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	勝山ボランティア団体交流会	第1層
財源	会費	◎自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(チャリティ映画)	介護給付
事業概要	勝山ボランティアセンターに登録されているボランティア団体同士の交流会				
事業計画	年に1回(11月頃)、チラシを各ボランティア団体へ送付し募集する。活動の参考になる講座や食事を交えながら交流・情報交換を行う。				
事業目標	他の人の活動を知り、ボランティア同士のつながりを強める				
見込み成果	ボランティア団体同士のつながりを強くする。交流情報交換を通して、お互いの活動の参考にする				
課題	交流会への参加が遠のいている団体もあるが、楽しい企画を行いたくさんの団体に参加してもらう。				
振り返り					

## チャリティ映画会(1301)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
		法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	チャリティ映画会
財源	会費	◎自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	映画を上映し、その収益をもってボランティアセンターが行うボランティア活動推進の事業を実施する				
事業計画	①勝山ボランティアセンター映画部会にて、協議し上映作品を決定する。②関係機関等にチケット販売の協力を依頼し、市民会館にて1日2回の上映を実施する。(実施は降雪時を避ける)。③障害者支援施設等の物品販売の場所の提供も併せて行う④ボランティアセンターや運営委員の活動について紹介する。ボラセンキャラクター「ココドン」グッズの販売				
事業目標	市民の方に映画を見て楽しめる機会を作る。収益についてはボランティアセンターにて活動に充てる				
見込み成果	高齢者や遠出できない方への娯楽の機会となる。ボランティアセンターを市民に知っていただく。活動の財源の確保				
課題	ボランティアセンターによる運営委員による運営を行いボラセン周知を図る				
振り返り					

## ボランティアセンター預託事業(1302)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター預託事業	ボランティアセンター預託事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	◎その他( 寄付 )	介護給付
事業概要	市民からの寄付金・物品の受入、払い出し。市内で火災の際、見舞金などを出している。				
事業計画	寄付金品の受入、払い出しについては、寄付者の意向に沿う。				
事業目標	寄付者の意向に沿った取扱い				
見込み成果	迅速に対応することで、払い出し先のニーズに合った支援ができる				
課題	ボランティアセンターに預託された資金の活用				
振り返り					

## 地域ぐるみ福祉学習(1303)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	
		法人運営	ボランティア活動事業	地域ぐるみ福祉学習	地域ぐるみ福祉学習
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	◎県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	家庭や地域におけるつながりの再構築を求め、地域で暮らすあらゆる世代の「つながる力」を育み、地域づくりの推進を行う。				
事業計画	小学校校区を単位に地域住民、学校、地区社協、公民館、民協が協働で事業を実施し、地域づくりを考えることとする。				
事業目標	学校中心の福祉教育ではなく、地域や生活に密着した体験を通じ、日常の行動やサロンへ結びつける				
見込み成果	今までの学校中心の福祉教育ではなく、地域と関わり地域の幅広い世代が自分たちの地域について考えるきっかけとする。				
課題	学んだことの継続的な行動ができる地区への働きかけ				
振り返り					

## すこやかフェスタ(1304・1404)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	ボランティア活動事業	つながりの輪づくり推進事業	すこやかフェスタ
	共同募金配分金事業		福祉育成援助事業		
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	◎県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	地域には様々な人が暮らしておりこの「すこやかフェスタ」を通して、たくさんの方々に「ふれあい・交流」し、「福祉」を感じていただく。				
事業計画	実行委員会を設置し、企画運営をおこなう。市内小中学生にボランティア活動体験の場の提供、きっかけづくりとする。				
事業目標	広く市民に福祉や健康、生活等について知ってもらう				
見込み成果	地域には様々な人が暮らしているという意識づけ。親世代や祖父母世代等「ふくし」に関わりの薄い人たちへのPR。				
課題	幅広い世代の方々に楽しみながら参加できる企画				
振り返り					

## 地域いきいきボランティアポイント事業(1305)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	地域いきいきボランティアポイント事業	地域いきいきボランティアポイント事業	第1層(全市)
予算	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他(財団など寄付)	介護給付
事業概要	高齢者の社会参加の促進や生きがいづくりを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業計画	40歳以上の市民の方を対象に(介護保険料の未納者は対象ではない)登録していただき、活動先の紹介をし、ボランティア活動を行ってもらう。広報や研修の場などで事業のPRを行い、参加者を増やす。研修を実施し、活動の幅を広げる				
事業目標	研修会開催をきっかけに若年層の新たなボランティアの発掘と活動の場を広げる				
見込み成果	新たなボランティアの発掘により、ボランティア活動が活性化することで、住みやすい町を目指す				
課題	活動の場とボランティアのマッチング				
振り返り					

## 障害者外出支援事業(1402)H30.2月終了

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	障害児・者福祉活動事業	障害者外出支援事業	第1層(全市)
財源	◎会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	常時車椅子の方で、在宅障害者の方の外出支援ということでリフトバスを運行させる。(運行は勝山交通委託)				
事業計画	常時車椅子で、在宅の方、また勝山市高齢者移送サービス事業の乗車券交付枚数が36枚を超えた方。勝山交通に運行を委託し、勝山市内にて実施。年会費6000円、1回に12枚チケット発行。				
事業目標	車椅子でなければ移動できない方の外出の確保				
見込み成果	利用者の足として運行され、通院や社会参加がしやすくなる。車いすごと乗れるリフトバスで、介護者の負担が少なく乗降できる。介護者も同乗できる。市の高齢者外出支援サービスで対応できない分を利用することで社会参加ができる				
課題	利用者の減少    利用回数の格差    車輛維持負担				
振り返り					

## 福祉車両貸出事業(1402)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	共同募金配分金事業	障害児・者福祉活動事業	福祉車両貸出事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	車椅子対応の福祉車両の貸出				
事業計画	在宅・施設入所者問わず、常時車椅子を使用しなければ移動が著しく困難な方に対し、使用料無料にて燃料代は自己負担、運転者は利用者が確保する。また、市内・市外問わず利用ができ、外出の機会の確保を図る。				
事業目標	常時うるま椅子利用者が外出することで社会参加を図る。車両のメンテナンス、管理を行い時間調整により市民に気持ちよく利用してもらう				
見込み成果	車椅子の方がそのまま乗車できる車を貸し出すことで、本人、介護者の移乗への負担が軽減される。外出にて行動範囲が広がり本人の社会参加やリフレッシュになる				
課題	事前申請制だが、急な貸し出しを希望される方への対応。福祉車両での移送サービスを実施する事業所の減少。日曜や祝日など職員が不在の時の貸し出し規定整理				
振り返り					

## 介護用機器貸出サービス事業(1402)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	共同募金配分金事業	障害児・者福祉活動事業	介護用機器貸出サービス事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(負担金)	介護給付
事業概要	福祉用具、介護機器の貸し出しサービス				
事業計画	福祉用具、介護機器を必要とする人、ただし、介護保険でのレンタルが可能な方は除く。車いす1か月まで100円、それ以上の方については、1000円、1年経過し更新の場合500円をいただく。ベッドについては電動ベッドのみ3000円で貸し出す。1年を経過し更新の場合は2000円となる。返却されたものについては、クリーニングと点検を行う				
事業目標	清掃、点検を行い気持ちよく安全に使用してもらう				
見込み成果	在宅生活する軽度の高齢者や障害者、一時的にADL低下されている方が安全に動作でき、介護負担を図る。費用の軽減を図る。メンテナンスにより安全安心して機器を使用できる				
課題	ベッド貸し出しの際の効率の悪さ 近辺での倉庫の確保。返却されたギャッジベッドの処分				
振り返り					

## チャイルドシート・ベビーカー貸出事業(1403)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	児童・青少年福祉活動事業	チャイルドシート・ベビーカー貸出事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(負担金)	介護給付
事業概要	チャイルドシート・ジュニアシート・ベビーカーを希望者に貸し出しする。				
事業計画	勝山市民と帰省家族を対象に1か月以内の短期の場合、1000円。1年以内は4000円、長期については、1年を超えると更新料金がかかる。耐用年数が経過したものについては、買い替える。汚れを防ぐために汗パッド、ベルトカバーを使用する。				
事業目標	清潔で安全な器具を貸出し、子育てを応援する。				
見込み成果	貸し出しにより両親、祖父母の車に設置することができ、6歳までの使用の啓発と費用節減。清潔安全なチャイルドシート等の提供ができる。				
課題	長期になると決まった人が使用して耐用年数が過ぎてしまう。				
振り返り					

## 福祉教育指導員・ゲストティーチャー派遣事業(1403)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	児童青少年福祉活動事業	福祉教育指導員・ゲストティーチャー派遣事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	市内学校の福祉学習等の際に福祉教育指導員・ゲストティーチャーを派遣し、身近ところでの「ふだんのくらしのしあわせ」を体験できる機会を提供する				
事業計画	市内の学校の担当教諭と打ち合わせを行い、福祉教育指導員、ゲストティーチャーを派遣し身近な福祉を知る。福祉教育指導員からは、活動日誌にて報告していただく。1回の派遣について2000円の謝礼を渡す。				
事業目標	地域包括ケアを目指した環境づくり				
見込み成果	児童生徒に身近な福祉を学ぶ機会とする。地域に住む様々な人を受け入れ共生社会を進める。障害者、高齢者の方だけでなく皆が社会で役割を持ち自己肯定感を高める				
課題	体験学習がマイナスのイメージにならないよう事前学習を含めた授業の実施を提案				
振り返り					

## 福祉学習交流会(1403)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	児童青少年福祉活動事業	福祉学習交流会	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	点字や手話などを学ぶ4年生を対象に、障害を持つ方との交流の機会を持ちお互いを知る場とする。				
事業計画	市内小学校4年生を対象に年に1回障害を持つ方と料理やスポーツを通して交流を行う。				
事業目標	色々な方が地域で住んでいるということを知り、お互いを知ることができる				
見込み成果	障害は特別な事ではなく、お互いに尊敬しあえる仲間であることに気づいて、その人らしい生活を考える一歩とする。				
課題	最初の段階で児童と障害者がお互いに戸惑っている様子があり、ボラセン運営委員設置にてスムーズ化を図る				
振り返り					

## 福祉教育推進事業助成金交付事業(1403)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	児童青少年福祉活動事業	福祉教育推進事業助成金交付事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	市内小中学校の福祉教育の推進に役立ててもらったため助成金を交付する				
事業計画	申請があった学校に対して、1校について30,000円の助成を行う。5月開催予定の福祉担当教諭連絡会の際に説明し、7月中に交付申請の文章を配布し、9月に助成する。				
事業目標	様々な体験の場の提供				
見込み成果	児童生徒に様々な体験を通して、心豊かな人材を育成する機会				
課題	毎年変わらない助成金の使い方がある				
振り返り					

## 歳末たすけあい配分金事業(1405)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	援護を要する世帯の方に暖かい年末年始を過ごしてもらうために様々な事業を実施する。また、給食サービス事業の食材費の一部を助成する。				
事業計画	勝山市民を対象に暖かい年末をすごしてもらうために共同募金の配分を受け、配分委員会を開き、希望する市民を対象に支援を実施する。また、給食サービスの食材費の一部を助成する。年末に皆さんが楽しめるイベントを開催する				
事業目標	あたたか年末年始を過ごせるように支援する				
見込み成果	あたたかい年末を過ごしてもらう。給食サービスによる安否の確認 年末イベントへの参加者同士の交流の場				
課題	援護を要する世帯の把握の方法について、新たな歳末たすけあいのカタチの模索				
振り返り					

## ボランティア研修会(1406)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
		法人運営	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア研修会
予算	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他(チャリティ映画)	介護給付
事業概要	市内のボランティア活動者(登録者)、一般市民を対象にボランティア、地域の貢献について、学びの場の提供				
事業計画	市内のボランティア活動者(登録者)、民生委員、いきいきボランティア登録者等を対象に活動に直接結びつくことや、生きがい、地域の結びつきなどをテーマに学びの場を提供する。				
事業目標	生きがいや楽しみを持てる研修の実現				
見込み成果	新たなボランティア活動者を発掘する場。市内に必要なボランティア活動者を養成する。ボランティア活動者のスキルアップの機会、ボランティア活動者同士の情報交換の場にする				
課題	理解しやすい研修を行う。				
振り返り					

## 全国ボランティアフォーラム2017参加(1406)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	ボランティア活動 育成事業	全国ボランティアフェス ティバル参加	第2層(地区社協)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(負担金)	介護給付
事業概要	全国のボランティアが一堂に集まる「全国ボランティアフォーラム2017」に参加し、自分の活動に活かす				
事業計画	社協広報にて参加者の募集を行い、「全国ボランティアフォーラム2017」に参加する。参加後広報等を通じて市民に報告する。				
事業目標	他の市町の活動を知り、今後の市内での活動に活かす				
見込み成果	参加者の講座や全国からの参加者との交流等を通して、他の市町の活動を知っていただき、今後の市内での活動に活かせる				
課題	参加して終わりではなく、学んだことを勝山市内で活かしていける場の検討				
振り返り					

## 福祉について考える情報共有会(1406)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	ボランティア活動 育成事業	福祉について考える研修	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	市内学校教諭を対象に子どもたちへの教育に活かせる福祉のプログラムについて学んでいただくために情報共有会を開催する				
事業計画	市内の学校教諭を対象に福祉教育について前年度の取り組み内容を提供し、プログラムの作成に役立つよう情報共有会を実施する。(年度初め5月目途に実施)				
事業目標	「福祉」「ボランティア」が特別なことではないことを理解する				
見込み成果	教諭に「福祉」「ボランティア」等について正しく理解していただく。学校と社協がより連携した福祉教育のプログラム作りや取組ができる。				
課題	当事者ボランティア等を含め、指導員に慣れる方を探す。				
振り返り					

## まちなかCafé運営事業(1408・701)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	まちなかCafé運営事業	まちなかCafé運営事業	まちなかCafé運営事業
法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	◎共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	地域で生活するにあたり社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置し、運営する。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける				
事業計画	勝山市民誰でもを対象に月曜日～土曜日の午前10時～午後5時まで勝山サンプラザ2階に集まれる場所を開催する。ただし火曜日は定休。社協職員が常駐し、来られた方々の相談や話し相手になる。地域の誰もが講師となり小さな教室を開催する。				
事業目標	誰もが立ち寄り、気軽に話ができる場づくり。カルチャーの拠点(小さな教室の開催、年間24回)				
見込み成果	高齢者だけでなく、市民誰もが立ち寄ることのできる場として提供し、様々な生活ニーズをキャッチできる 気軽に相談できる身近な場としての定着、新たな事業展開				
課題	まちなかCaféの活用、利用の幅を広げる(社会福祉法人からの積極的な参画)				
振り返り					

## 生活福祉資金貸付事業(1501)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	◎県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図ることを目的として貸付制度。				
事業計画	相談者への対応、受付け、審査会を通して貸付決定、貸付、償還となる。年に4回の残額のお知らせ等の発送事務、民生委員との連携による償還指導等を実施する。また、生活困窮者自立支援法との関連制度の一つとして連携をとりながら自立に向けて取り組む。				
事業目標	世帯が力をつけて自立できる支援				
見込み成果	単なる貸付ではなく、その世帯が力をつけて自立できることを目指す。				
課題	貸付後の自立につながる支援				
振り返り					

## 小口資金貸付事業

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
予算	会費	◎自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	介護給付
事業概要	当座の資金不足により、次の収入が入るまで、生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業計画	一時資金の貸し付け限度額30,000円 保証人不要 資金借入相談により必要に応じて、資金繰りの相談を行う。必要があれば他機関との連携により支援を行う。返済が滞っている人には状況を把握し返済方法などの相談に努める				
事業目標	生活困窮に陥らない支援				
見込み成果	一時的に生活費が不足した場合、この資金を借入することで、金利の高い資金の借り入れをしなくてよい。また、相談支援を行うことで他の困りごとなどの発見も行え、他機関との連携で、生活困窮への陥らない支援も行うことができる				
課題	返済が滞っている方への関わり				
振り返り					

## 生活支援体制整備事業(701)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	活支援体制整備事
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	平成27年度介護保険制度改正により新たな総合事業が始まり、助け合いのある地域に向けた地域づくりのため、関係機関によるネットワーク会議での話し合いや生活支援コーディネータを配置し、地域の課題解決の場と新たなサービスの構築をする。併せて、まちなかCaféを核にした支援を考える				
事業計画	地区社協ごとの話し合いを進めながら、年に2回程度圏域での話し合いの場を作る。併せて研修を実施する。特に今年は、多くの地域の方に参加してもらえる話し合いの場の実施。課題の抽出。				
事業目標	第2層の圏域ごとに地域の課題について話し合う場を持つ(全域にて実施) 地図を使った情報共有を行う				
見込み成果	地域の課題に向き合い、さらに解決方法を探る				
課題	地域で行われているお互いさまの実態をつかむ。				
振り返り					

## 困りごと支援センター らいと(601)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	生活困窮者支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける				
事業計画	生活に困窮している人を対象に訪問や相談を実施し、アセスメント、プランの作成を実施する。モニタリングと再プランを繰り返し、自立へと支援を行う。スモールステップにて自信を持てる支援				
事業目標	スモールステップにより成功体験を積み、自立に向かう支援				
見込み成果	生活に困っている方が安心して生活を送ることができるように本人の希望に沿いながら他機関や支援サービスと連携を取り支援を行う				
課題	支援の出口の不足(家計相談、就労準備支援、学習支援)				
振り返り					

## 老人ホームヘルプサービス事業(1601)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)
予算	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(自己負担金)	◎介護給付
事業概要	介護保険法に基づくホームヘルプ事業の実施、また施設利用の方が一次帰宅された時、介護保険対象外の方や介護保険で認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する「あんしんサービス」を実施する。				
事業計画	介護保険認定を受けた方に対し、サービスの提供を実施。ヘルパーの質を向上させるために月に1回の研修にて認知症や皮膚疾患・食生活などの高齢者特有の症状に合わせた質の良いサービスを行う。				
事業目標	終末期、看取りについて対応できるよう研修を重ねる				
見込み成果	個別の検討会を行うことで、クレームを少なくし、統一したサービスを提供することで継続した利用と追加時の利用への見込み ヘルパーの採用に伴い、朝・夕の利用者の増加 安心サービスの利用者増 終末期への対応ができる。				
課題	ヘルパーの確保 質の向上				
振り返り					

## 居宅介護支援事業(1701・1702・1703)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	介護保険サービス事業	介護予防支援 介護給付 要介護認定調査事業	居宅介護支援事業・ 予防ケアマネジメント	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	◎介護給付
事業概要	介護保険法に基づく計画相談、介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施				
事業計画	65歳以上で介護や支援が必要であると認定を受けた人、40歳～64歳で特定疾患(16種類)が原因で認定を受けた人を対象に地域で安心して暮らせることを目指し、マネジメントを実施する				
事業目標	本人・家族の思いに寄り添い、安心した生活が送れるように支援する				
見込み成果	新規依頼への積極的な対応、精神の方や生活困窮の方、独り暮らし、医療依存度の高いなど関わりが頻回となる方に対しても社協独自の支援体制で安心して暮らせるマネジメントにの対応				
課題	困難ケース(家族関係の希薄・医療依存度が高い・生活困窮など)の対応 関係機関との連携				
振り返り					

## 居宅介護事業(障害ヘルプサービス)(1801)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス	居宅介護事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	◎その他(自己負担金)	◎介護給付
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)方へのホームヘルプ事業の提供。また、施設入所している方で一時帰省された方、計画以外のサービスを希望される方を対象にあんしんサービス(30分1000円)の実施				
事業計画	在宅で生活されている障害者(児)の方に個別支援計画に沿って、住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活全般への支援を実施する。本人の生活スタイルに寄り添った支援の実施、併せて重度障害者への支援等必要な研修を受け、資質の向上を図る				
事業目標	住み慣れた地域での生活を継続できるための寄り添い支援				
見込み成果	ヘルパー利用者の増加と利用時間の増加 利用者の自立への意欲を引き出したという喜びを感じてもらえる支援 ケアウイングの導入により調整ミスの減少・記録時間の短縮				
課題	ヘルパーの確保 必要な研修への受講と資格取得				
振り返り					

## 計画相談支援事業(1802)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	その他( )	◎介護給付
事業概要	障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用へ向けて、ケアマネジメントにより支援をする				
事業計画	障害者(児)からの相談、インテーク、アセスメントから計画を立て、調整会議を実施し、初回計画から3か月と半年に1度のモニタリングにて計画の見直しなど適切な支援を行う				
事業目標	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるように支援する				
見込み成果	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるように本人の希望に沿いながら他機関やサービス提供者と連携を取る。				
課題	月ごとの計画数の偏りについて(市への働きかけを含む)				
振り返り					

## 障害者生活支援センター事業(1901)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。兼ねて、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業計画	障害者、障害児、障害があるかもしれない方を対象に相談、支援、関係機関との連携を図る。また、相談から探る地域課題を浮き彫りにする				
事業目標	身近に相談にのることができる環境を作っていく、必要に応じて訪問する				
見込み成果	障害者(児)、または保護者の方から気軽に相談できる場の提供				
課題	潜在ケース、停滞ケースへの積極的なアプローチが十分にできていない				
振り返り					

## 障害者社会参加促進事業(1902)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
財源	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	その他( )	介護給付
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域が障害理解が進み、権利擁護できるように働きかける				
事業計画	障害を持つ方や支援者等に対し、障害者のスキルアップと社会参加への促進を図る、家族へ障害理解や対応方法を学ぶ機会の提供、障害理解の地域啓発、障害者の後見等権利擁護に関する研修の実施				
事業目標	誰もが安心して暮らせる地域づくり				
見込み成果	障害があっても住み続けられる地域づくりや社会参加の促進 気軽に外出できる場所の確保				
課題	如何にしてより多くの方に興味を持って頂き、より多くの方に参加してもらうか				
振り返り					

## 勝山市社協成年後見サポートセンター「ささえ愛」

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	勝山市社協成年後見サポートセンター「ささえ愛」	第1層(全市)
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協法人後見事業		
予算	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	◎市委託	◎その他(後見報酬)	介護給付
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援				
事業計画	勝山市民、現在後見受任中の被成年後見者、日常生活自立支援事業利用者を対象に相談申し立て、後見の受任を行う。また、成年後見制度の普及啓発(障害者生活支援センターと合同)のため、市民向け講座や広報等により事業の周知、市民後見人養成講座修了生のフォローアップ講座も実施する				
事業目標	「このままでは暮らしていけない」方の相談にのり「暮らし続けていく」ことに対して相談支援を行い、安心した生活の継続を支援する。				
見込み成果	高齢少子化、障害者施策の方針変換等により今後ますます本制度の利用が見込まれる。法人後見としてささえ愛運営委員会で承認されれば、受任をする。そうすることで、若干の後見報酬も見込まれることがある。				
課題	その事業にかかる財政基盤が不安定である。(後見報酬のみであるため、また、無報酬の方もいる。) 親族申立が不可能な方へ、市長申立をお願いしたい際の調整(?)				
振り返り					

## 社協喫茶(2200)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業タイトル	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	社協喫茶	第1層(全市)
予算	会費	自主財源	県社協補助	市補助	障害給付
	共同募金	県社協委託	市委託	◎その他( )	介護給付
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、経営の安定を図る。				
事業計画	すこやか利用者を対象に飲食を提供する。新メニューの考案、毎日日替わりでの一品を出している。調理を一人で行っているためメニューの精査をしながら、売り上げ増への工夫を重ねる。				
事業目標	集客のための周知、メニューの考案				
見込み成果	周知をすることで、利用者増につながる。喫茶としての活用をしてもらうことでの売り上げ増。				
課題	夏場の売り上げが少ない、冬場の材料費が多くかかる。				
振り返り					